

## 喜怒哀楽

- 衣替えと同時にタイツを着用しました。3年生はいよいよ受験シーズン到来。今冬のインフルエンザ流行が心配です。
- 何だか急に冬がやってきたような寒さが続く毎日。我が家の高校生も風邪でダウン…しかし、病院に行きたがらない…こういう所は幼い頃と変わらず少し懐かしくなる土曜日の朝。
- 今秋は体調を崩しがちで、何かと調子が悪い日が続きます。夏の疲れなのでしょうか、年齢を感じる今日この頃です。
- 昨日のお月様とってもきれいに見えました。10/6
- 天気が変です。人間以外の動物や植物もとまどっていることでしょう。
- サンマ、サケの不漁が心配です。乱獲により、地球温暖化による海洋環境変化にともなうものではないかと…。
- 今年は落ち着かない天気で冬が来るのも早そうですね。あまり雪が多くないといけど多いんだろうな…。
- 採用試験の結果が出ました。3分の1が臨時の職員。仕事のかたより方もすごいです。その中、合格した数少ない先生、本当におめでとう。
- 文化祭の準備が大忙しです。生徒も先生もがんばっているの、ぜひ晴れて、たくさんの人に来校して欲しいです。
- センター100日前をむかえ、3年生はどンドン受験に向けて気合いが入ってきました。気温も下がり、体調を崩しそうな日が続いている気がしますが、なんとか頑張りたいと思います。直接授業をもってはいませんが、放課後に質問に来る3年生が増えてきました。その生徒たちの質問に答えることで応援していきたいと思えます。
- 政府からの緊急メール、ミサイル発射が出され、驚くばかり。2回とも泊まり明けて、舎生を見守りながらも、地下はない。本当にどうすればいいの？安全な寄宿舎をあらためて考える必要があると感じています。
- 一か月後の日本の政治はどうなっているのだろうか？
- まさかの衆院解散選挙。こんな政治状況の中で主権者教育をどう進めると！？こんな為政者にはなるな、とでもいっておけばいいのか。
- 18歳以上に選挙権があるけれど難しい政治をだれが教えるのでしょうか。日本はこれからどちらを向いているのでしょうか。私たちにも難しくすぎますヨ。
- 急に選挙だなんて。学園祭の大学生はいい迷惑ですね。文化祭前の高校生も大変ですよ。「人に迷惑をかけちゃダメよ」と教えているのが、なんか虚しいですね。生徒に注意していることを、いい大人が先に立ってやってるなんて。やっつけられません。
- 5年間の安倍政権に対する審判、高教組としても一致団結頑張ろう。
- 衆院選に635億円を充てることを閣議決定した。その金額に見合う選択をしたと思う。政治家の思惑に左右されず、信念を曲げないつもりです。
- いよいよ衆院選に突入。消費税の用途や社会補償制度、教育費など、1人1人の一票の重みが明日の日本を変えていくことを考えると慎重に投じたいと思います。
- 選挙もどうかと思ったが、希望の党の公認をもらうために鞍替えするというのもあきれかえった。「当選しなければ始まらない」というのはその通りだが、何をやってもいいというのではなかろう。昔に比べ、選挙が浅はかな理由で始まり、内容を伴わず終わっているような気がしてならない。
- 人口がどんどん減少する日本で、税金をどう使うかは、本当に大きな問題だと思います。本当に「生きる」使い方をすべきだと思います。教育・教育現場が疲弊していることを、最近特に感じます。
- 前回の喜怒哀楽に同意見があって、ニヤリとしてしまいました。不倫を擁護するつもりは毛頭ありません！・・・が、それだけで、力ある(舞台に出てくるくらいには)政治家が消えていくことに違和感があります。「清廉潔白」は望ましい資質・背景です。それは美点ですが、「全員潔癖」では、スキャンダルの度に人材が消えていきます。「豪傑」も「聖人」もいなくなってしまうのは、「多士済々」とはいきません。問題は外交であり、内政であるはず。クリーンなイメージは期待しますが、それだけの政治家では役に立ちますまい。
- 県教研が近づいてきましたね。独身時代は勉強もできて、様々な先生方との交流もできるこの機会を楽しみに、毎年参加していました。今の県教研は独身者や子育ての終わった世代の人しか、参加できない会になっているように思います。いろいろな人が参加できるような教研になればいいと思います。
- 来年の春、退職になります。再任用希望は出さないことにしたので、1つ1つが最後の行事になります。もうすぐ文化祭(これも最後の行事ですね)。くいのないように、心残りのないように、がんばろうと思います。

- 1984年採用組。定年(60歳到達)は他人事と思っていた。今年、住宅ローン完済連絡。年金支給は少し先。現金収入再任用・晴耕雨読・柴犬散歩・高校野球観戦・健康管理・70年代大昔洋楽聴きまくり・TRAVEL WITH MY BETTER HALF・盛岡城石垣撮影等々にとりくむぞ！(いじい頑張り)
- 最近のテクノロジーにはなかなかついて行かず、頑張って追いつくこととは思ってたが、SNS、LINEとかのトラブルが発生しているという状況が頻りに聞こえてきます。便利なものにトラブルはつきもの、私は関わり合いたくないし、知らない方が安全で平和だと思うようになりました。携帯は、電話と簡単なメールができれば十分です。
- 文化祭の準備をしながら、進学生徒との面接練習に全力を注いでいます。3月まで、精一杯頑張りたいと思います。クロスワード3回目にチャレンジしてみました。
- 昨年、長女が結婚し、今年になり妊娠の報告がありました。うれしいようなさびしいような…。おじいちゃんになってしまいます。
- とうとうやりました。やっと尺イワナを釣り上げました！尺イワナとは30cmオーバーのイワナのことで、イワナの大ききのマックスと言ってもよいでしょう。何年も何年も川の底で生き抜いてきたイワナです。かわいそうな気も若干ありますが、イワナ釣り師の自分としてはイワナ釣りは人間とイワナとの壮絶な戦いのです。何年も前に私にイワナ釣りを教えてくれた師匠はいつも言っていました。「尺イワナを釣り上げない限りは一人前とはいえない。」最初はそんなものたまたま釣れることもあるんだから関係ない、と思ってましたが、何年もイワナ釣りをしながらその意味が分かってきました。イワナ釣りはウグイやヤマメと違い溪流釣りの最高峰と言われます。しかも師匠と私が行く川は魚を放流している川ではなく、人間に管理されていない自然の川です。これがポリシーなのです。そこにはクマもいるし、ヤブ蚊も大量にいます。そんな山で藪をかきわけながらひたすら上流をめざします。上流にしかイワナはいないからです。ときどき深い縁にぶつかり首まで沈んでしまうこともあります。イワナは氷河期の生き残りの魚で海まで下れずに山の中で独自に進化した魚です。そのため非常に用心深く、少しでも物音や少し違和感のあるエサというだけで絶対に食いつきません。そこに泳いでいるのが見えても絶対に釣ることはできません。あるポイントで失敗したらそこにイワナが泳いでいようとあきらめて上流に上がっていき、次のポイントを探すしかありません。しかも他の魚と違ってやっかいなことに、季節や気温や時間帯によって食べるエサの好みも異なることです。それは経験で判断して変えていくしかありません。あるときはブドウムシ、あるときはミミズ、またあるときは現地調達のカワムシを使います。しかもそれもイワナの年齢によって好みも異なります。尺イワナなどは絶対に生きていた状態でも動いている状態のエサしか食べません。だから針にエサをつけたときも残酷ですが、急所を刺さないように慎重に刺します。そして最も重要なのは次の瞬間です。たたんでいた竿をゆっくり伸ばしていき川に竿や自分の影が映らないようにして狙うポイントに自然に木から落ちてきたような落下スピードで落とします。はっきり言ってイワナ釣りはこの瞬間にかかっていると言っても過言ではありません。他の釣りではひたすら待つイメージがありますがイワナは2、3秒で勝負がつきます。そのあとどんなにそのポイントで頑張ってもエサが不自然に落ちてくるといってイワナは石の陰に隠れて絶対に出てきません。そして他の魚とのもう一つの違いはその引きの強さです。非常に強い。小さいイワナでも強い。これが眠ったDNAを呼び起こすのです。戦っている、という原始人の頃を思い出すのです。生きることはこのことだ。この瞬間を味わうために今日も私は旅に出る。尺イワナの感覚は人生で初め感覚だった。その日は一人で山に入って行ったのだが、本当に1対1のかけがえのない3分間であった。
- 海釣りに今年はまだ、行ってません。行きたい！
- 再任用185日目、錦木は負け越してした。11月場所も応援します。
- いつも楽しみにしていた組合情報のパズルに初めて応募しました。結構難しいクロスワードで苦戦しましたが、色々勉強になりました。
- 今回はスムーズにとけました。
- こりずまにまた応募しました。
- 1年に1度しか当選しないというわさもありますが挑戦します。
- クロスワード好きの講師の先生に解いてもらいました。「組合ではこんなこともしていきますよー」と宣伝も加えて。当選したら山分けしようと思います。
- 第6号に職場の後輩の名前がのっていたので、負けじとチャレンジ！推薦指導でワタワタする中、よい息抜きになりました。